

## 平成27年度 事業計画

### 【目 的】

学校事務職員の専門性を高め、新しい学校に対応した理想的な学校事務を追求するために、公開の研修会・研究会を開催し、もって資質の向上を図ります。

その具現化のため、次の事業を行います。

### 【研 究 部】

研究部では、「三重県公立小中学校事務研究会」の役割を踏まえながら、理想とする学校事務・学校事務職員の構築に向けて研究を推進していきます。

今年度は「第6期中期研修計画」の7年目最終年として、『教育活動の活性化に向けた学校事務の実現』を研修主題に研修を進めます。また、「教育活動活性化計画」の完成に向けて検証を進め、第7期中期研修計画の策定に向けて提案していきます。

#### 第6期中期研修計画

##### 1. 研修主題

教育活動の活性化に向けた学校事務の実現

研修主題の設定にあたって

私たちは、専門職として子どものために何が出来るかを考え行動することにより、一人ひとりの子どもたちの課題に目を向け、学校の教育活動が滞りなく実行される環境づくりに努めてきました。

しかし、一人ひとりの子どもたちが持つ育ちの可能性を、私たちが責任を持って保障していくためには、学校の教育活動が円滑に実行される環境を提供するだけでなく、学校事務を専門とする事務職員が、効果的にその役割を果たすことにより教育活動を活性化する必要があると考えます。

学校事務が学校の教育活動を変えていく。そのためには何が必要なのかを研修を進めるなかで明らかにし、実現していきます。

##### 2. 主題実現に向けて

三重県公立小中学校事務研究会として「教育活動活性化計画」を策定することにより、これからの三重県の学校事務職員が果たすべき役割をより明確にし、その実行を推進します。

三重県公立小中学校事務研究会による独自の研修の機会を設定し、個々の会員の資質向上を図るとともに主題実現に向けての研修を企画、実施します。

##### 3. 研修内容

研究大会、研修講座を中心とした年次計画を作成し、研修を実施します。

## (1) 研究大会

全会員の協力体制のもとに研究発表を行います。

## (2) 研修講座

学校事務職員としての資質向上のため、会員相互の連携による研修を行います。

年3回を原則とし、開催する地域は2回を津市、1回を津市以外の地域の持ち回りとします。

研修内容については一定量の時間枠を設定、年間6枠以上を基本としながら、主題達成のために直接かかわる研修を3枠以上設定したうえで、年次計画に基づき、各研修分野から会員の資質向上に特に必要な分野を選択し、研修を実施します。

### 研修分野について

「基本」…学校事務職員としての基本的な資質を扱う分野

(教育公務員としての資質、学校事務職員としての役割の理解、学校教育の現状と課題の理解、人権・同和教育の理解と行動、一般教養、等)

「職務遂行」…学校事務を適正に執り行うための資質を扱う分野

(法令・制度、情報・文書管理、学務、人事サービス、給与・旅費、福利厚生、管財・経理、監査、等)

「組織運営」…組織を運営するための資質を扱う分野

(リーダーシップ能力、等)

「学校経営」…学校経営へ参画するための資質を扱う分野

(マネジメント能力、危機管理能力、問題解決能力、等)

「研究活動」…事務研究会としての活動を扱う分野

(研究会の在り方、研究大会還流、支部活動紹介、等)

## 4. 研修の期間

第6期中期研修計画の研修期間は平成21年度より7ヶ年とします。

(研修期間を平成21年度より7ヶ年に変更)

## 平成27年度 三重県公立小中学校事務研究会 研修実施計画

### 1 研修主題

教育活動の活性化に向けた学校事務の実現

### 2 主題実現に向けて (H27年度)

「さらなる実践 挑戦 チャレンジ」

平成21年度からの第6期中期研修計画で掲げた研修主題である「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」を具体化するために、私たちはさまざまな取り組みを行ってきました。

平成27年度は、「教育活動活性化計画」の完成に向けて、「さらなる実践 挑戦 チャレンジ」を提案します。すべての教職員がそれぞれの特性を発揮し、協力し、つながりあいながら学校組織に働きかけていくことで、学校の主たる機能である学校教育活動は、より効果的に活性化することができます。学校事務職員は、そのために学校や共同実施で何ができるかを考え実践することが必要です。このことを踏まえ、今年度は、伝え、実践する力をつける研修や、研究大会の還流報告及び個人・組織での実践発表を行い、資質向上をはかる研修を実施します。

### 3 研修の実施

## 研究大会

第52回三重県公立小中学校事務研究大会を行います。

期 日 平成27年10月15日(木)  
会 場 三重県総合文化センター  
発表支部 熊野支部  
講 演 四日市大学副学長 総合政策学部教授  
岩崎 恭典 さん

研修講座 下記内容で研修講座を実施します。

	第一回(5月19日)	第二回(7月23日)	第三回(12月10日)
開催場所	津市 男女共同参画センター	志摩市 阿児アリーナ	津市 男女共同参画センター
午後前半	※総会	資質向上のための講座 つくば研修報告 鳥羽市立答志小学校 主幹 米奥 久裕 さん	資質向上のための講座 未定
午後後半	主題達成のための講座 ・研究部より今年度の活動計画について ・個人実践発表 松阪市立殿町中学校 調整監 安村 明 さん	主題達成のための講座 有限会社オズ 海島遊民くらぶ 代表 江崎 貴久 さん	主題達成のための講座 研究部より第6期総括 と第7期中期研修計画 について

## 【 研修部 】

「平成27年度 三重県公立小中学校事務研究会 研修実施計画」を受け、下記の事業を実施します。

### 1. 第52回三重県公立小中学校事務研究大会

期 日 平成27年10月15日（木）  
 場 所 男女共同参画センター 多目的ホール  
 テーマ 「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」  
 講演 四日市大学副学長 総合政策学部教授  
 岩崎 恭典さん  
 発表支部 熊野支部

### 2. 研修講座

第1回 5月19日（火） 男女共同参画センター 多目的ホール  
 研究部 今年度の活動計画について  
 個人実践発表 「学校事務職員 過去・現在・未来  
 ～学校事務職員を楽しもう！～」  
 松阪市立殿町中学校  
 調整監 安村 明さん

第2回 7月23日（木） 志摩市阿児アリーナ  
 講演 「未定」  
 講師 有限会社オズ 海島遊民くらぶ  
 代表 江崎 貴久さん  
 つくば研修報告 鳥羽市立答志小学校  
 主幹 米奥 久裕さん

第3回 12月10日（木） 男女共同参画センター 多目的ホール  
 研究部 第6期総括と第7期中期研修計画について  
 講演 「未定」  
 講師 未定

### 〔平成27年度以降の県大会（東海大会）のローテーションについて〕

年度	県大会発表支部	東海大会発表支部	東海大会の開催場所及び形態
27	熊野	松阪	愛知 1日
28	尾鷲	度会	岐阜 1日
29		全体会のみ	三重 1日（鈴鹿市）
30	鳥羽	伊賀・伊勢	愛知 2日

#### ◎発表支部のローテーション

23年度より県大会発表支部を1支部に変更しました。

東海大会・県大会の発表をどちらも経験するように、ローテーションの順番を基本に調整します。ただし同一年度の発表支部間の話し合いにより変更することができます。

この話し合いは、前年の総会までに研究部を通じて行います。

※東海大会（全国大会）の形態等により適宜見直しを行い、変更する場合があります。

## 【 情報部 】

### 調査活動

研究活動の充実を図るため、各種の調査を実施します。

### 広報活動

役員会・委員会の活動状況や、支部の活動紹介・各地区の情報を中心に年6回程度三事研広報を発行します。

また、東海地区の研究大会をはじめ近畿・北陸・関東地区など全国の研究大会の開催情報を提供します。

会員の連携・交流とPRを兼ねた会誌「ひろば」を発行します。

### 「事務の手引」編集委員会

「事務の手引」の充実・改善をはかります。

- ・年間5回程度の編集会議を開催します。
- ・必要に応じて、第36号以降の追録及び第37号以降の訂正表の発行をします。

### ホームページ

会員への広報活動、研究活動の運営に必要な情報伝達を行うため、ホームページを運営管理します。

三事研のHP URL : <http://miejiken.jp>

三事研 連絡ページ URL : <http://miejiken.sblo.jp/>  
(携帯 可)



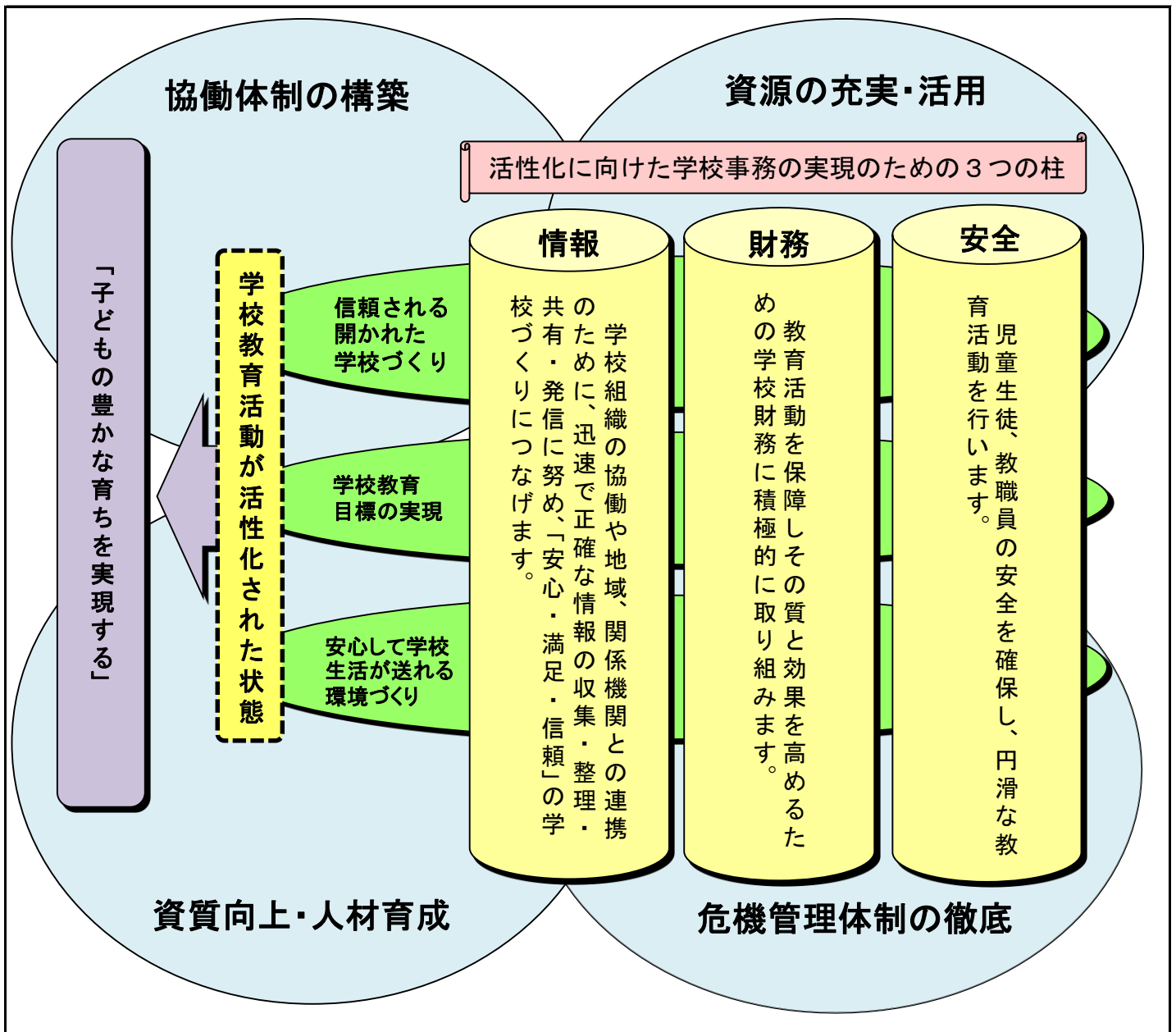
連絡ページ QRコード

# 教育活動活性化計画

## 基本方針「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」

「学校教育目標の実現」「安心して学校生活を送れる環境づくり」「信頼される開かれた学校づくり」の目標を達成するために、事務職員が大切にしたい3つの領域（「情報」「財務」「安全」と学校組織全体として大切にしたい4つの視点（「協働体制の構築」「資源の充実・活用」「資質向上・人材育成」「危機管理体制の徹底」）を活用して、学校事務職員が、効果的にその役割を果たすことにより教育活動を活性化していく。

### 実現へのイメージ図



## 具体的行動指針・具体的行動策

### 「情報」

#### 具体的行動指針

学校組織の協働や地域、関係機関との連携のために、迅速で正確な情報の収集・整理・共有・発信に努め、「安心・満足・信頼」の学校づくりにつなげます。

- ・教育活動に必要な教育資源(ひとものかね)の情報提供を行います。
- ・学校内外の情報の流れを整理します。
- ・学校の保有する情報を適正に管理します。
- ・教育活動の課題について検証し、課題解決に向けての情報活用を行います。
- ・学校から地域、関係機関への情報提供を行います。

#### 具体的行動策

- ・学校開放日等に保護者等に学校財務状況を展示する(購入備品、修繕工事の状況、水道電気使用量など)。
- ・保護者への一斉メール配信、不審者情報や行事等のお知らせ、災害情報、休校情報の発信に関わる。
- ・学校からの各種通信を活用し、学校徴収金、就学援助とその規則等の定期的かつ積極的な情報提供を行う。
- ・学年通信等の校正にかかわり、正確な情報発信に努める。
- ・データが必要な時にすぐに活用できるように市や学校で管理している共有フォルダを利用し、文書管理、文書收受、保管の処理について、事務職員が学校の中心となり取り組む。
- ・「事務情報ボード」職員へのタイムリーな情報提供としてホワイトボード等で一目でわかるように連絡したいことを記入する。
- ・すべての教職員が当事者意識を持ち、電話対応の際に内容を正確に伝えたり適切な対応をとる。
- ・修理依頼や備品購入業者、旅行取扱業者、修学旅行や校外学習等の行き先、交通費などの情報を共同実施で収集して、各校へ情報提供し活用する。
- ・備品管理システムを利用し他校の備品を有効活用できるようにする。
- ・わかりやすい備品リストを作成し、職員に情報提供する(写真の活用など)。

## 「財務」

### 具体的行動指針

教育活動を保障しその質と効果を高めるための、学校財務に積極的に取り組みます。

- ・学校教育目標に沿った学校運営を行うための予算計画・予算執行を行います。
- ・予算委員会等を活用し、学校財務を教職員全体のものとしします。
- ・学校財務におけるコンプライアンス体制を確立します。
- ・保護者負担金の軽減の視点を持ち、予算計画・予算執行を行います。
- ・あるかぎりの手立てを用い、財源資源の拡充を行います。

### 具体的行動策

- ・予算委員会を活用する。開催にあたって効果的な時期を設定し、委員会で話し合う内容の検討や、教職員からの要望を集約する。  
ex.購入備品の活用状況 備品点検 予算の執行状況・決算報告 次年度への要望や引き継ぎ 等々
- ・予算委員会を計画的に行う時間を確保する。
- ・保護者負担軽減のため公費で購入できる消耗品等について検討・検証し、予算計画に生かしていく。
- ・児童生徒向けに購入した備品の掲示を作成し、周知を図る。
- ・備品点検を通して校内資源の活用を促し、教科指導に生かしていく。
- ・学年や教科で使用する教材一覧表を作成し、保有状況もあわせて整理していく。
- ・学校集金の会計事務の適正かつ明朗な執行と、事務処理の標準化のため、学校集金取扱マニュアルを作成する。
- ・物品の共同購入を推進し、コスト削減につなげていく。
- ・バザーや廃品回収で得られた収益の有効活用を検討する。
- ・授業を参観し、備品の選定や環境づくりを教員と協働して取り組む。



## 「安全」

### 具体的行動指針

児童生徒、教職員の安全を確保し、円滑な教育活動を行います。

- ・児童生徒の就学を保障する手立てを講じます。
- ・児童生徒にとって安全・安心な学校環境の維持・管理を行います。
- ・災害などによる被害を最小限に止めるための対策を行います。
- ・学校組織が内包する危機の分析、評価を行い、適切に管理します。
- ・地域や保護者とともに、子どもが生活する地域の安全のために協働します。

### 具体的行動策

- ・就学援助費制度について保護者周知を徹底する。
- ・学校納付金や就学援助事務において、各家庭の状況を把握する。
- ・校内及び校区内巡回を常に行い、状況把握に努める。
- ・修繕箇所発生時の迅速な対策を図る。
- ・危機管理物品の定期点検を実施する。
- ・災害対策のため、各種情報類の電子化を推進する。
- ・防災備品として購入した発電機・非常用照明機器の利用方法について、わかりやすいマニュアルを作成する。
- ・児童生徒の下校先、居住地、引渡し者一覧の管理を適切に行う。